



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日
東・名

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所
コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 健太
問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 藤田 誠一 (TEL) 052-624-8539
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	82,250	6.0	2,996	201.9	4,509	86.1	2,816	92.3
2024年3月期第3四半期	77,603	13.3	992	104.6	2,422	56.8	1,464	209.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 $\Delta 1,224$ 百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 7,512百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	111.60	—
2024年3月期第3四半期	58.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	150,363	90,258	57.1
2024年3月期	153,572	92,395	57.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 85,824百万円 2024年3月期 87,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2025年3月期	—	14.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	26.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期(予想)期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭 普通配当 21円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	7.9	3,300	207.3	4,300	39.0	2,600	30.6	103.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正(記念配当実施)」に関するお知らせをご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社(社名)一、除外 1社(社名) 株式会社東郷ケーブル
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	25,542,396株	2024年3月期	25,542,396株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	306,362株	2024年3月期	298,448株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	25,239,605株	2024年3月期3Q	25,252,013株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(四半期連結貸借対照表関係)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
参考資料	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における主要取引先の売上高は、前年同期に比べ、国内は第2四半期までの主要取引先の生産停止影響が緩和してきており、ほぼ計画どおりの生産が実施でき、特に新製品スタビライザの量産開始による取引拡大が寄与し、また、労務費及び鋼材、資材などのインフレ影響に対する売価反映が順調に進捗することで増加し、一方海外は中国をはじめとして北米、アジアを含む全域で減少となりましたが、グローバル全体での売上高は増加いたしました。

このような状況のなか、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同期に比べ46億4千6百万円増収（前年同期比6.0%増）の822億5千万円となり、同期間では過去最高となりました。この売上高は労務費上昇、鋼材インフレ等に対する売価反映と為替変動の影響を含み、実質的な売上高の増収は約21億円となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が前年同期に比べ20億3百万円増益の29億9千6百万円（前年同期比201.9%増）となりました。

新技術を搭載した新製品スタビライザの売上高増に伴う収益構造の改善、直材費低減としてのグローバル調達ソーシングの改善や仕入先様と一体となり改善を行うエンジニアリング調達、外注加工技術の内製取込みによる材料調達改善、設備面ではCO2削減と生産効率向上を両立する冷間工法技術による投資拡大、加えてデジタル化の推進による間接部門の生産性向上など、原価費目全般にわたる従来レベルを凌駕する収益改善努力により所与の結果を得ました。

生産面では生産量増加に伴う負荷上昇はありましたが、設備・人員両面の改善による生産性向上、柔軟な増員・応援の実施により計画どおり生産が実施できました。

経常利益は前年同期に比べ20億8千6百万円増益の45億9百万円（前年同期比86.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ13億5千2百万円増益の28億1千6百万円（前年同期比92.3%増）となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに同期間で過去最高となりました。

第4四半期も引き続き高負荷な生産が続きますが、安全を第一に確実に生産を実施し、原価改善活動の更なる拡大を図り、本日通期見通しを別記載のとおり修正いたします。併せて期末配当予想を増配計画として、年間配当は過去最高となる見込みです。

本年は2027年度中長期経営計画達成に向け90億円を超える過去最高の設備投資を実施いたします。生産能力増強、製品高付加価値化のための商品力強化投資、SDGs投資などを積極的に行い、単年の収益確保に加え将来への基盤づくりも着実に実施しております。

加えてグローバル戦略に掲げております将来市場の拡大が有望視されているインド進出のための合弁会社の設立も行いました。今後、確実に収益をあげられる地域へと成長させてまいります。

更に、ポスト2027年度中長期経営計画に向けた更なる企業価値向上を目指す成長戦略づくりにも着手いたします。将来市場を見据え、当社のコアコンピテンシーを最大限に活用できる取組みを考えます。併せて、中長期持続的にステークホルダーの皆様への還元を最大化する取組みを確実に果敢に実施してまいります。

今後も、クリエイティブ・カンパニーとして信頼され続ける『100年企業』を目指し、『社会』と『人』に優しく持続的に企業価値を高め続けられる会社づくりに邁進いたします。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

[日本]

売上高615億8千1百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益33億6千1百万円（同306.8%増）となりました。

[北米]

売上高66億9百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益2億2千4百万円（同21.2%増）となりました。

[中国]

売上高84億4百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業利益2億3千8百万円（同66.1%減）となりました。

[アジア]

売上高125億9百万円（前年同四半期比6.7%減）、営業利益7億3千6百万円（同26.7%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は561億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千6百万円減少(0.0%減)いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少(5億8千6百万円)、商品及び製品の減少(5億7千万円)、原材料及び貯蔵品の減少(2億3千4百万円)及び電子記録債権の増加(11億8千1百万円)によるものであります。

固定資産は942億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億9千2百万円減少(3.3%減)いたしました。これは主に投資有価証券の減少(56億3千1百万円)及び機械装置及び運搬具の増加(23億5百万円)によるものであります。

この結果、総資産は1,503億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億9百万円減少(2.1%減)いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は209億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3千4百万円増加(4.1%増)いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(10億1千万円)によるものであります。

固定負債は391億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ19億6百万円減少(4.6%減)いたしました。これは主に繰延税金負債の減少(19億9千9百万円)によるものであります。

この結果、負債合計は601億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千2百万円減少(1.8%減)いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は902億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億3千6百万円減少(2.3%減)いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少(40億1千6百万円)及び利益剰余金の増加(21億5千3百万円)によるものであります。

この結果、自己資本比率は57.1%(前連結会計年度末は57.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は最近の業績動向等を踏まえ、2024年10月30日に公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想の修正をいたしました。

詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期 通期連結業績予想及び期末配当予想の修正(記念配当実施)に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,123,118	21,795,240
受取手形及び売掛金	15,345,922	14,759,396
電子記録債権	2,420,593	3,602,529
商品及び製品	3,871,745	3,300,824
仕掛品	1,878,883	1,834,072
原材料及び貯蔵品	9,254,712	9,019,877
未収入金	555,340	483,446
その他	1,700,483	1,339,447
貸倒引当金	△27,670	△28,074
流動資産合計	56,123,131	56,106,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,956,756	33,032,668
減価償却累計額	△25,979,590	△26,417,742
建物及び構築物（純額）	5,977,165	6,614,926
機械装置及び運搬具	69,784,722	72,889,612
減価償却累計額	△56,462,842	△57,262,069
機械装置及び運搬具（純額）	13,321,879	15,627,542
土地	9,725,718	9,690,762
建設仮勘定	5,346,396	4,404,068
その他	12,048,850	11,989,920
減価償却累計額	△11,069,933	△11,038,058
その他（純額）	978,917	951,861
有形固定資産合計	35,350,077	37,289,161
無形固定資産		
ソフトウェア	171,538	170,227
その他	32,597	27,992
無形固定資産合計	204,136	198,219
投資その他の資産		
投資有価証券	41,827,887	36,196,683
長期前払費用	597,348	464,906
繰延税金資産	217,777	271,871
退職給付に係る資産	19,018,464	19,606,500
その他	244,498	239,867
貸倒引当金	△10,426	△10,426
投資その他の資産合計	61,895,549	56,769,404
固定資産合計	97,449,763	94,256,785
資産合計	153,572,894	150,363,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,124,427	12,134,978
電子記録債務	1,629,067	1,563,402
短期借入金	686,000	693,000
リース債務	124,495	116,819
未払金	1,933,551	1,013,587
未払費用	1,947,471	2,388,203
未払法人税等	391,585	725,934
賞与引当金	1,465,004	888,201
役員賞与引当金	58,394	39,240
製品保証引当金	19,160	21,193
その他	720,548	1,349,221
流動負債合計	20,099,707	20,933,782
固定負債		
長期借入金	23,000,000	23,000,000
リース債務	246,426	235,996
繰延税金負債	16,437,938	14,438,049
役員退職慰労引当金	68,672	32,918
退職給付に係る負債	1,085,350	1,236,004
資産除去債務	136,633	125,502
その他	102,414	102,402
固定負債合計	41,077,435	39,170,873
負債合計	61,177,142	60,104,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,074,224	11,055,911
利益剰余金	28,770,197	30,923,945
自己株式	△308,631	△309,315
株主資本合計	50,372,999	52,507,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,012,568	22,996,122
為替換算調整勘定	1,875,903	2,441,956
退職給付に係る調整累計額	8,650,948	7,878,232
その他の包括利益累計額合計	37,539,420	33,316,311
非支配株主持分	4,483,332	4,434,829
純資産合計	92,395,752	90,258,891
負債純資産合計	153,572,894	150,363,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	77,603,723	82,250,415
売上原価	69,701,317	72,035,495
売上総利益	7,902,406	10,214,919
販売費及び一般管理費	6,909,751	7,218,571
営業利益	992,654	2,996,348
営業外収益		
受取利息	33,494	96,394
受取配当金	811,574	1,047,412
為替差益	619,949	416,543
その他	159,252	171,069
営業外収益合計	1,624,271	1,731,419
営業外費用		
支払利息	46,431	95,004
固定資産除売却損	59,528	80,494
品質保証費用	41,206	-
その他	47,500	43,253
営業外費用合計	194,666	218,752
経常利益	2,422,258	4,509,015
特別利益		
関係会社清算益	-	69,806
特別利益合計	-	69,806
特別損失		
減損損失	-	169,338
藤岡第4工場事故に係る損失	54,106	-
事業構造改善費用	-	240,714
特別損失合計	54,106	410,053
税金等調整前四半期純利益	2,368,151	4,168,768
法人税等	743,065	1,243,317
四半期純利益	1,625,085	2,925,450
非支配株主に帰属する四半期純利益	160,460	108,805
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,464,625	2,816,645

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,625,085	2,925,450
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,413,458	△4,004,703
為替換算調整勘定	503,042	627,429
退職給付に係る調整額	△29,096	△772,692
その他の包括利益合計	5,887,404	△4,149,966
四半期包括利益	7,512,489	△1,224,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,274,043	△1,406,464
非支配株主に係る四半期包括利益	238,446	181,947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	52,294,286	7,463,802	6,797,672	11,047,962	77,603,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,994,718	91,084	2,827,528	2,360,644	8,273,976
計	55,289,005	7,554,886	9,625,201	13,408,606	85,877,700
セグメント利益	826,360	185,469	705,420	581,102	2,298,352

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,298,352
未実現利益の消去等	49,294
全社費用(注)	△1,354,993
四半期連結損益計算書の営業利益	992,654

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	58,986,506	6,596,305	5,928,509	10,739,093	82,250,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,595,002	13,547	2,476,438	1,770,147	6,855,135
計	61,581,509	6,609,853	8,404,947	12,509,241	89,105,551
セグメント利益	3,361,412	224,871	238,984	736,498	4,561,766

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	4,561,766
未実現利益の消去等	22,108
全社費用(注)	△1,587,527
四半期連結損益計算書の営業利益	2,996,348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「中国」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては169,338千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,844,949千円	3,256,140千円

(四半期連結貸借対照表関係)

(偶発債務)

当社が過去に製造した自動車用フロントスタビライザに関連し、得意先において当該部品を組み込んだ自動車について2024年5月23日に市場回収処置（リコール）の届出が行われました。これにより補修費用の負担が発生する可能性があります。影響額を現時点で合理的に見積ることが困難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

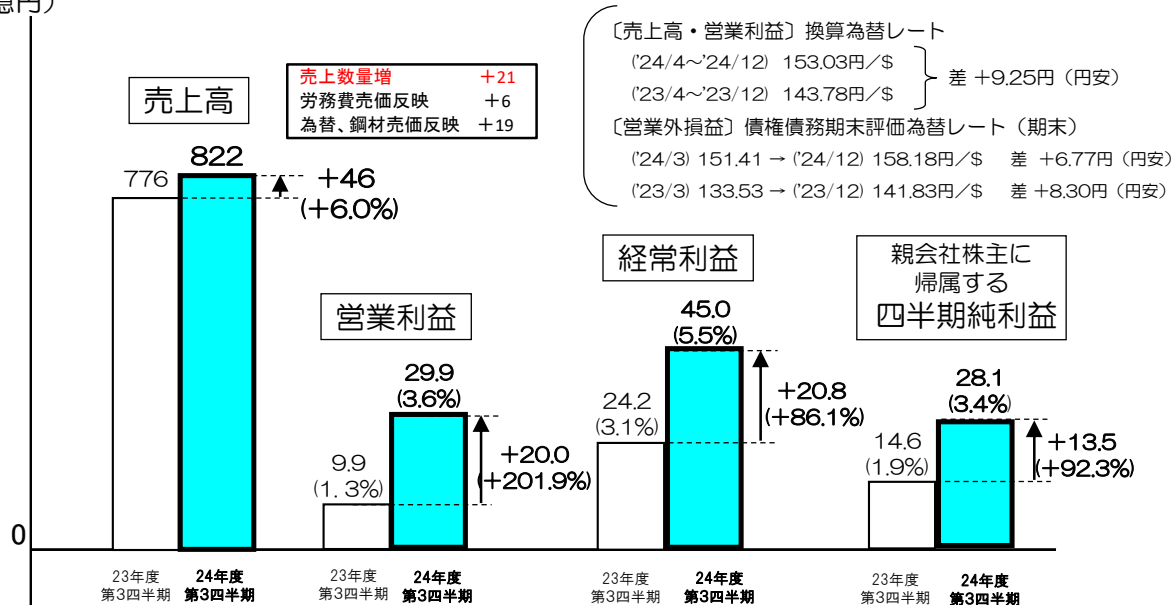
当第3四半期連結会計期間において「株式会社東郷ケーブル」の清算終了に伴い、同社を連結の範囲から除外しております。

1. 売上高 … 国内は、第2四半期までの主要取引先の生産停止影響の緩和、新製品の量産開始に伴う取引拡大、インフレ売価反映が寄与し、増収。海外は全地域で減収だが、相殺し、連結売上高は増収。過去最高。
 2. 営業利益 … 高付加価値製品の量産開始と合理化改善による収益貢献が、設備投資・研究開発費・人的投資などの「意志ある固定費」を上回り、またインフレ売価反映が順調に進捗し、増益。過去最高。
 3. 経常利益 … 営業利益の増益に伴い、増益。過去最高。

1. 連結決算の状況

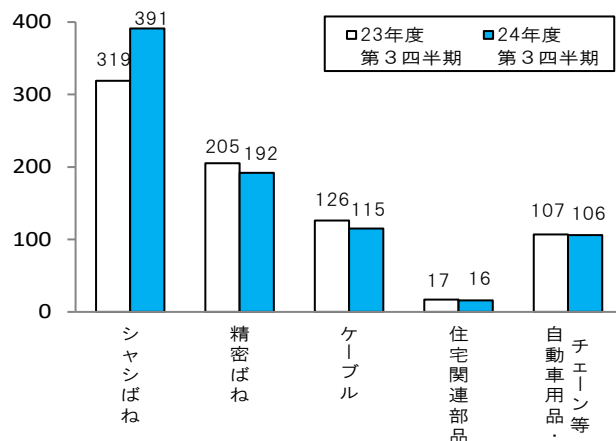
(金額単位：億円)

(億円)



2. 製品別売上高明細

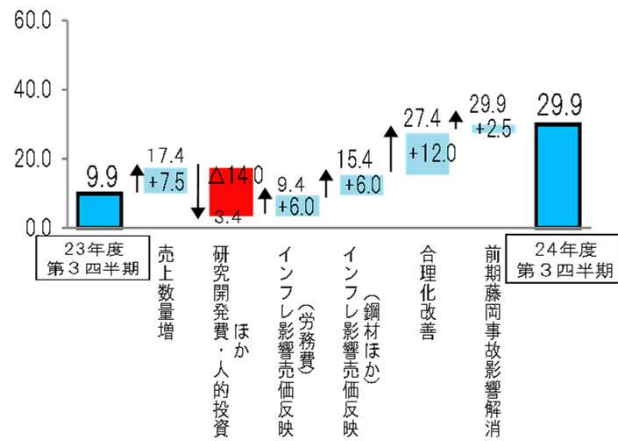
(単位：億円)



3. 利益の増減要因 (対前年同期比)

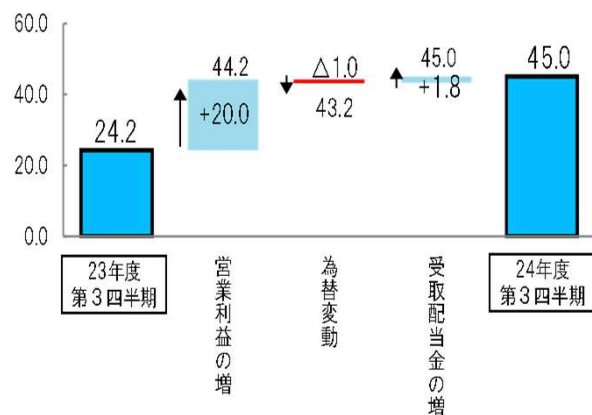
(1) 営業利益

(単位：億円)



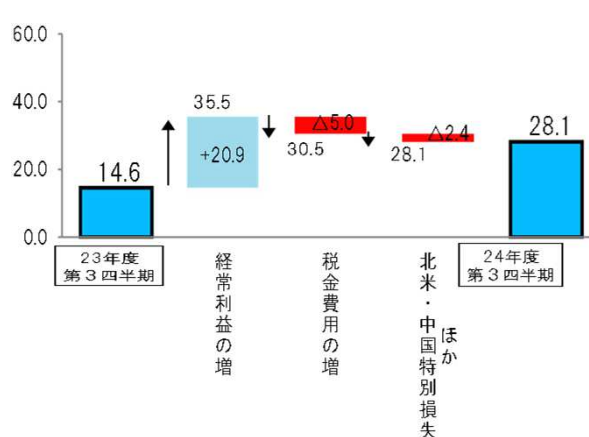
(2) 経常利益

(単位：億円)



(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

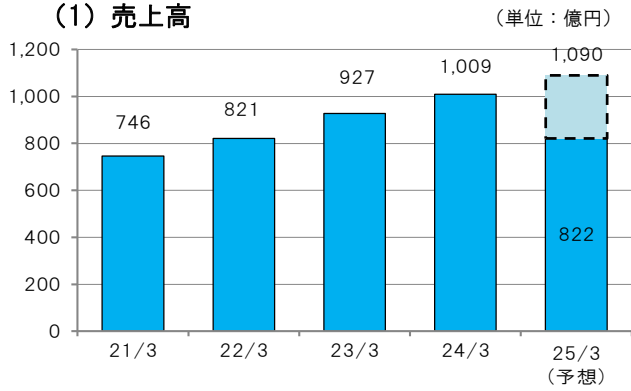
(単位：億円)



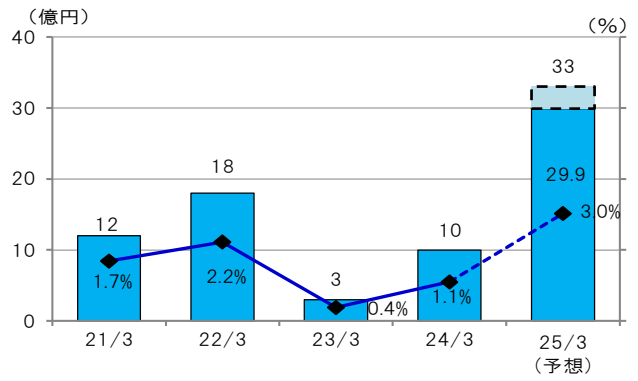
(金額単位：億円)

4. 業績推移

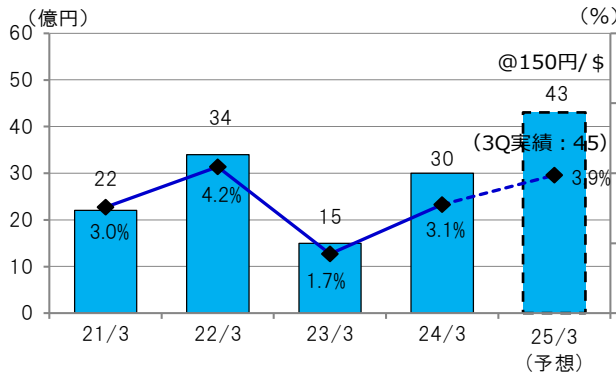
(1) 売上高



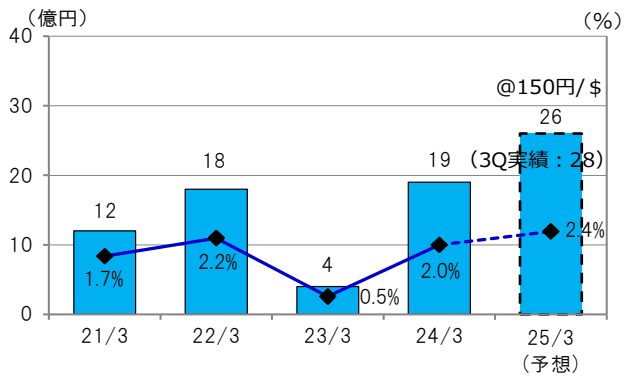
(2) 営業利益



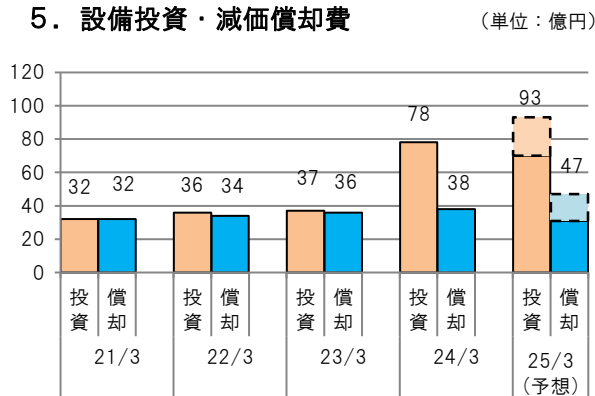
(3) 経常利益



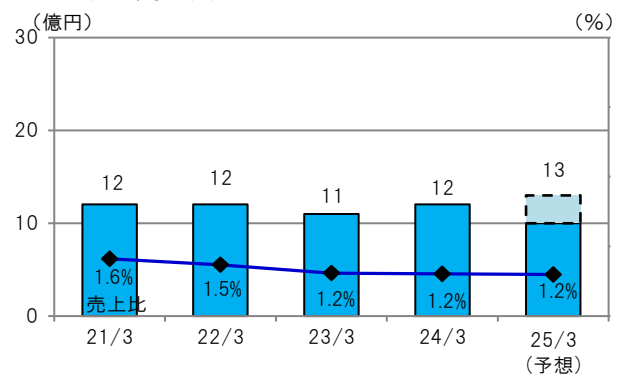
(4) 親会社株主に帰属する当期純利益



5. 設備投資・減価償却費

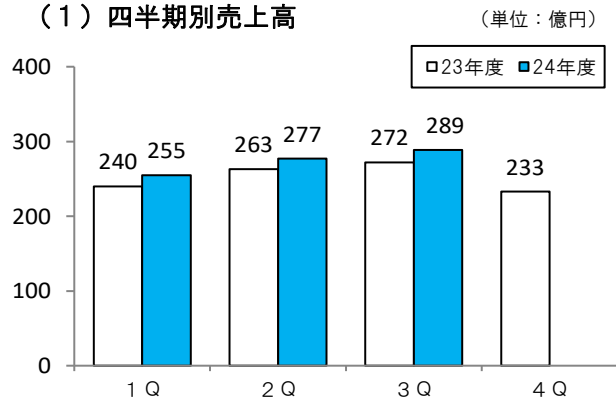


6. 研究開発費

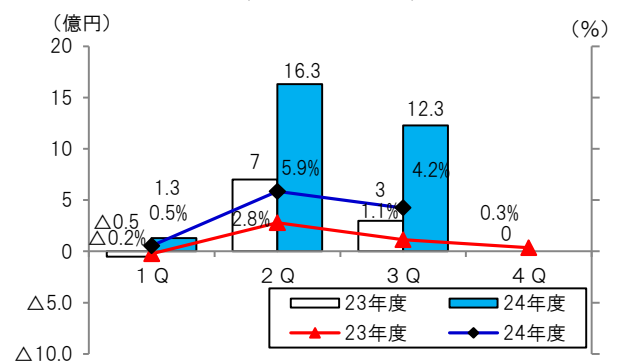


7. 四半期別業績比較

(1) 四半期別売上高



(2) 四半期別営業利益又は営業損失 (△)



(金額単位：億円)

8. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
通期	1,090	7.9	33	207.3	43	39.0	26	30.6	103.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

9. 貸借対照表

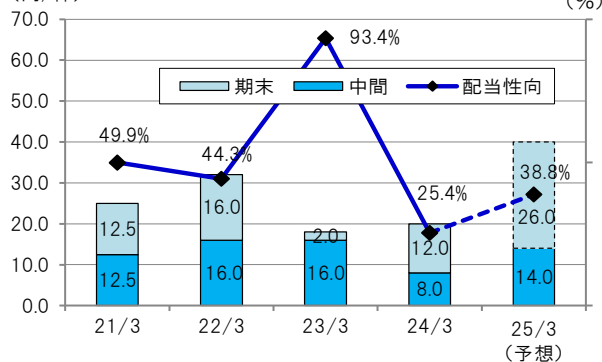
(単位：億円)

科目	資産の部			科目	負債・純資産の部		
	24/03	24/12	増減		24/03	24/12	増減
流動資産	561	561	+0	流動負債	200	209	+8
現金及び預金	211	217	+6	買入債務	127	136	+9
売上債権	177	183	+5	借入金	6	6	+0
棚卸資産	150	141	△8	その他	66	65	△1
その他	22	17	△4	固定負債	410	391	△19
				借入金	230	230	-
				その他	180	161	△19
固定資産	974	942	△31	(負債計)	611	601	△10
有形固定資産	353	372	+19	株主資本	503	525	+21
無形固定資産	2	1	△0	その他包括利益累計額	375	333	△42
投資その他資産	618	567	△51	非支配株主持分	44	44	△0
				(純資産計)	923	902	△21
計	1,535	1,503	△32	計	1,535	1,503	△32

10. 配当金・配当性向

(円/株)

(%)

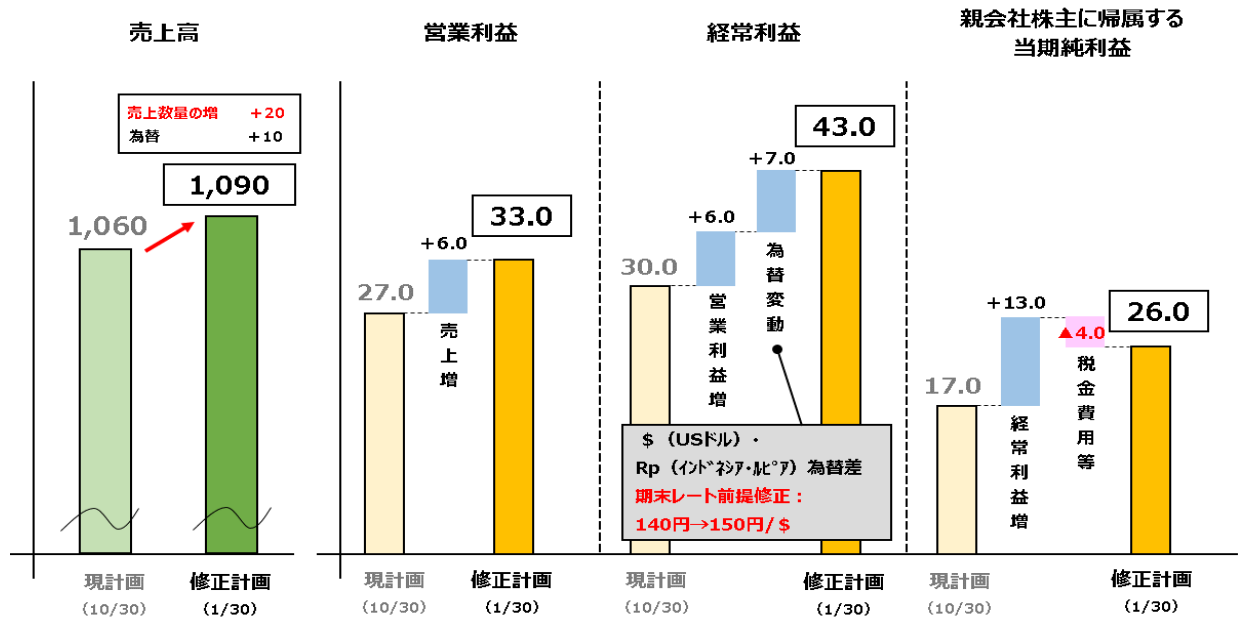


(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

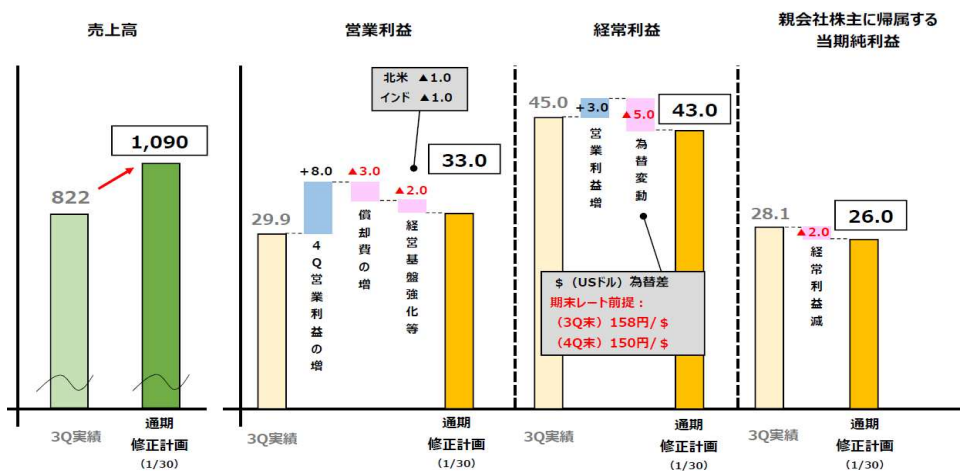
11. 2025年3月期 25/1/30公表 修正計画 vs 24/10/30公表 修正計画

■2025年3月期 修正ポイント

1. 売上高 …当第3四半期結果及び当第4四半期における国内を中心とした売上高の増加により、増収予想。
2. 営業利益…売上増に伴う、付加価値分利益上昇により、増益予想。
3. 経常利益…営業利益の増益、及び期末為替レート想定を円安に修正したことによる為替差益の計上に伴い、増益予想。



<参考①>2025年3月期 第3四半期実績から25/1/30公表修正計画までの推移



<参考②>2025年3月期 24/10/30公表 修正計画 vs 24/4/25公表 期首計画

